



阿蘇からの風



特別ゲスト
中村牧 ピアノ

曲目より
全てが愛のために、愛の讃歌、時は過ぎてゆく、他
小さな木の実、詩人が死んだとき、生きる

大庭照子 「米寿」 シャンソンコンサート

2026年
11月7日(土) 開場 | 13:00 開演 | 13:30

横浜市市民文化会館 関内ホール 〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1
<https://www.kannaihall.jp/access/>

料金 全自由席 一般：3,000円 サポート会員：2,500円（当日入会可）

チケットお取扱 NPO法人日本国際童謡館

TEL | 080-9523-3304 E-mail | ompuman.doyokan@gmail.com



関内ホールチケットカウンター

TEL | 045-662-8411 (10:00~18:00、休館日を除く) *窓口販売、電話予約引取り、代引き発送販売

主催 NPO法人日本国際童謡館

後援 大庭照子を応援する会、地域文化交流横浜、(一社)日本童謡学会、(一財)辻文化財団

協力 玄米酵素グループ

ごあいさつ

私は30歳の時にクラシックから転向し、ポリドールレコードからシャンソン歌手としてデビューしました。そして今、米寿を迎え、一言では言えないほどの音楽人生を今も歩き続けています。シャンソン歌手としてデビューしたものの、本当に様々なことに取り組みました。しかしどんな時も自然な流れの中で、シャンソンを歌っていたのです。そして今、私が心から感じるのは、シャンソンは全ての愛のテーマにあふれている民衆の歌ではないかという事です。

米寿を迎えるときに中村牧さん御一家が私のシャンソン歌手としての活動を応援したいと申し出てくださったこと、驚きと感謝でいっぱいです。なにかこれから母が望んでいた歌手 大庭照子の人生が始まるのではないかと、ときめいています。

そんな喜びの中で又長年いろいろと御縁をいただいている東幾世さんが館長を務めていらっしゃる関内ホールで、米寿シャンソンコンサートを企画しました。

41年の長きにわたって私の活動を共に歩んでくださっているNPO法人日本国際童謡館の高田理事長主催で開催できることも大きな喜びです。

“植えるに時あり、抜くに時あり、泣くに時あり、笑うに時あり、黙するに時あり、語るに時あり・・・” 私が大事にしている旧約聖書の聖句です。

その時を感じながら、大いに語り歌いたいと思います。是非お出かけください。

NPO法人日本国際童謡館館長 大庭照子

大庭 照子

NHK“みんなの歌”で「小さな木の実」がヒット。のべ3000校以上のスクールコンサートに出演。大庭音楽事務所代表としてシャンソンの祭典パリ祭の主催製作を20年間行う。現在は日本国際童謡館館長としての活動のかたわら、大庭照子が贈る年齢は宝ものコンサート、キングラン童謡コンサート（老人施設）、大庭照子シャンソンをうたう等で全国展開中。2022年NHKラジオ深夜便「私終いの極意」に出演。2023年月刊誌「致知」特集「わが人生の詩」にノーベル生理学・医学賞受賞の大村智博士との対談が掲載される。

第17回日本童謡賞特別賞、第1回下総皖一賞音楽賞（演奏部門）、第35回久留島武彦文化賞（個人賞）、2001年第11回くまもと県民文化賞受賞、2025年COREZOコレゾ賞の各賞を受賞。

中村 牧

3歳からピアノを始め、声楽、器楽を学ぶ。

横浜国立大学教育学部音楽専攻卒業。2006年、磯子区民文化センター杉田劇場館長に就任。ピアノを弾く館長として、区内を中心とした文化施設等で広く演奏活動を行う。

その後、横浜みなとみらいホール総支配人を経て、2014年に再び杉田劇場館長に就任。定年退職にともない音楽企画制作の「ぽこあぽこの会」設立。「大庭照子を応援する会」もたちあげ「大庭照子&中村牧おしゃべりシャンソンコンサート」をシリーズでミズキーホール音楽ルームで展開中。

NPO 法人日本国際童謡館とは

平成元年10月10日大庭照子は童謡運動「阿蘇からの風」として3つのビジョンを掲げ、日本国際童謡館の設立構想を発表しました。現在、日本とハワイにNPO法人を設立し活動しています。

1 過去：先人が遺された名曲を歌い継いでいく。

2 現在：「今生きている歌を、今生きている子ども達に」をモットーに新曲に取り組む。

3 未来：童謡の理念を理解し、正しく歌える若い人材を育成する。

地域文化交流とは

NPO法人日本国際童謡館 大庭照子館長の理念を全国に広めるために、全国各地の皆様にご協力いただき、地域の特色を生かした活動となるよう設立しております。大庭照子館長の長年の夢の実現のため日本国際童謡館もサポートしています。

NPO法人日本国際童謡館理事長 高田真理